

教育こども委員会実地視察報告

2026年7月8日、教育こども委員会が神戸市立科学技術高等学校（中央区）を視察しました。

同校は、充実した実習設備と実験環境を備え、「未来志向型エンジニア」の育成を目指す専門高校です。機械・電気・情報分野を中心に、理論と実践を組み合わせた教育を展開し、専門的な知識や技術力、課題解決能力を育成しています。

また、産業界と連携した「K-SMART engineers 育成事業」では、企業の技術者から直接学ぶ機会を設け、自ら見て、判断し、行動する力やコミュニケーション能力の向上にも取り組んでいます。

進路面では、多くの企業への就職実績に加え、理系大学への進学者も増加しており、国家資格の取得を含め、生徒一人ひとりの多様な進路希望に対応した教育が行われています。

さらに、部活動も活発で、約80%の生徒が参加しており、専門教育とあわせて人間性や自立性を育む環境が整えられています。

今回の視察を通じて、同校が専門的な技術教育と人間形成を両立させながら、地域産業や社会を支える人材の育成に大きく貢献していることを確認しました。また、現在教育委員会において、市立高校のさらなる魅力向上に向けたプランの策定が進められる中、今回の視察は市立高校の特色や強みについて理解を深める貴重な機会となりました。

